

ポ文協設立の原動力のお一人

クロー先生 追悼

小笠原 正明

2016年2月16日にポーランドの友人から「クロー教授が今朝亡くされました。享年92才でした」という簡単なメールが届きました。受け取ったのは日本時間の早朝5時で、現地ではその前日のことでした。

クロー先生 Dr. Jerzy Kroh は、ポーランド第二の都市ウッチにある工科大学の教授で、放射線化学研究所の所長であり、1970-80年代には東欧を代表する放射線化学者でした。1977年に北大工学部の吉田宏先生の研究室の客員教授として札幌で半年間家族と過ごされたのが契機となって、現地の吉田勝一さんの助けでウッチにポーランド・日本協会を設立し、その会長になりました。

そのあといくつかのルートを通じて、同種の協会を札幌にも作るようにという働きかけがあったようです。直接的には吉田宏先生が学会でウッチを訪問

されたときに「ポーランド・日本国際交流—ウッチ・札幌」と刻みこまれた立派な木皿をいただいたことが、北海道ポーランド協会設立の最後の一押しになったと聞いています。

本協会設立から6カ月後の1988年4月、ポ文協例会で「キュリー夫人の業績と生涯」という題で講演され、1994年の協会ポーランド旅行ではウッチでのイベント・歓迎会のホスト役を務められました。

最近、友人からお元気ではあるが外出はできなくなったと聞いていました。訃報を聞いて、あの善意にあふれたエネルギッシュなクロー先生の温顔を思い出しては、協会30年の歴史に思いを馳せました。心からご冥福をお祈りします。

(おがさわら まさあき)



クロー先生、1988年、筆者宅で。右は息子ジョン（ヤン）君、手前は奥さまバルバラ（アレキサンドラ）さん(2012年逝去)

北大祭インターナショナルフードフェスティバル IFF2016 に“Polski Namiot” 出店

手作りのポーランド料理はいかがですか!

2016年6月2日(木)~5日(日)9:00~21:00 (木曜は12:00~、日曜は~17:00)

北大総合博物館(北10西8)付近に出店予定

※ ポーランド人とのおしゃべり&展示を楽しむなら、平日がオススメ!

北大祭で2010年から恒例の、ポーランド人留学生のお店(テント Namiot)を今年も出します。

北大祭は毎年6月最初の週末、市民の皆さまをお迎えし、クラスやサークルの皆さんが様々なお店やイベントを催します。留学生も、インターナショナルフードフェスティバルとして、たくさんのお店で自分の国の料理を出します。

日本では普段は食べられないおいしいポーランド料理を、ぜひ食べにきてください。

4日(土)PM2:00~クラーク会館で「午後のポエジア」があります。午前北大祭、午後ポエジアというコースはいかがですか。



北海道大学ポーランド人留学生会、協賛:ポーランド広報文化センター、後援:北海道ポーランド文化協会